

2012年8月25日

在日米海軍厚木基地司令官様

厚木基地爆音防止期成同盟委員長

藤田榮治

第四次厚木爆音訴訟原告団団長

藤田榮治

原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川をめざす県央共闘会議

代表岡本聖哉

神奈川平和運動センター

代表宇野峰雪

オスプレイの配備計画の撤回と、その他の軍用機の飛行中止を求める要請書

わたしたちは神奈川県内において、基地による被害を訴え、平和で静かな空の下に生きることを願いながら活動する市民の集まりです。

本年2月8日に空母艦載機 EA6B プラウラーが部品落下事故を起こしました。落下した部品の大きさと数は、わたし達が危険と隣り合わせで生活していることを実感させました。しかし、その直後、何事もなかったかのように、空母艦載機の飛行が行なわれました。さらに、事故の原因も公表されないまま、5月に夜間離発着訓練が行われ、厚木基地周辺に爆音の嵐が吹き荒れました。果たして、本国ではこの様な振る舞いが許されるのでしょうか。自分の家族、友人の頭上に危険が降りかかることを放置するのでしょうか。

今、岩国基地に置かれている垂直離着陸輸送機 MV22 オスプレイについても然りです。あなたは、あのような事故の多い機に部下を乗せようと思うのでしょうか。我々はあなた達、米国民を同じ人間であると思い、あなた達が戦場で死んだり、人を殺したりすることに悲しみを憶え、それを止めるよう訴えてきました。

オスプレイが配備される予定の沖縄・普天間基地周辺にも、低空飛行訓練を行う予定の地域にも、大勢の人々が暮らしています。オスプレイの配備、運用は、大勢の住民のいのちとくらしを脅かすものです。

昨年の東日本大震災に際しての、あの「トモダチ作戦」が本当の「友達」としての行為であるならば、今すぐ厚木基地での軍用機の飛行を止め、オスプレイの配備計画を撤回すべきです。

最後にもう一つ、言っておきたいことがあります。日本の週刊誌で報じられた、貴職の部下による日本人女性への「レイプ事件」についてです。報道内容が事実なら、真相解明のため、日本の警察当局に協力し身柄を引き渡すとともに、司令部としても再発防止策を早急に打ち出すべきです。

以上のことを訴えるとともに、貴職に次のことを求めます。

- ・オスプレイを本国に持ち帰るよう、上層部、貴国政府に進言すること。
- ・本年2月の部品落下事故の詳細な原因を公表すること。
- ・厚木基地での軍用機の飛行を即時中止すること。